

コード	302020702
記入日	H24.6.8

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	平尾 好春

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	新魚目高齢者生活福祉センターボイラー改修事業
----------	------------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	8
事務事業コード	3020207	事務事業名称	新魚目高齢者生活福祉センター管理費	細目コード	252
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町新魚目高齢者生活福祉センター条例・規則		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 入居者及びディサービス利用者	(対象2)	(対象指標1)	31人 (入居者16人、ディサービス利用者15人)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・新魚目高齢者福祉センターの利用促進と円滑な管理運営のためボイラー設備の改修を実施する。	***** ボイラー取替工事	1.0式	100%	実施事業→ 計画事業	***** 平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり、ボイラーの取替工事を行った。			
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・ボイラー設備の改修に伴い、入所者及び地域住民に対して介護支援機能、居住機能及び交流機能等を提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援する。		***** 延べ利用日数	260日	100%	365日×5/7	***** 平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり事業進捗によってボイラーの改修を達成することができた。			
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	① 日	260	260		260	260
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	4,826	4,826		4,826	4,826
直接事業費 A	千円	4,126	4,126		4,126	4,126
人件費 B	千円	700	700		700	700
内 従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
財 源 内 訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起 債	千円				
	そ の 他	千円				
内 一般財源	千円	4,826	4,826		4,826	4,826

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	福祉施設において利用者の生活に資するボイラー設備の整備は、施設管理者として重要な責務であり、入所者及び利用者の生活環境につながる。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	ボイラーの改修によって、生活環境の維持を図ることができた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	ボイラーの改修は入所者及びディサービス利用者に対して居住機能及び交流機能等を提供できた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>入居者や利用者が安心して生活できる環境を作るため、老朽化した施設の安全性の確保に努める。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>入居者や利用者が安心して生活できる環境づくりに資するものである。今後も維持管理を適正に行い支障のないよう努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。